

エージェントの人格形成と人工社会研究への応用例(要約)

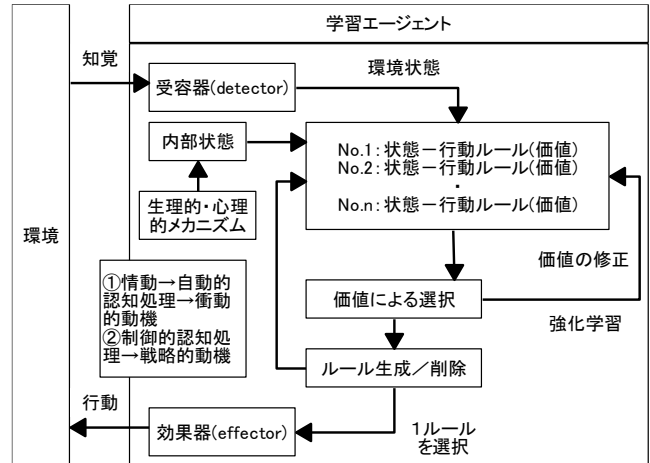
2009年2月27日 東京大学大学院 D1 池田誠

エージェントを「人間」に近づける試みの一つとして、ここでは、性別、年齢、消費カロリー、知力、体力、婚姻、遺伝等の特性に加えて、「心」即ち「人格(パーソナリティ)」という特性を持たせたエージェント(図1参照)を紹介するとともに、その応用可能性と事例を紹介したい。

表1の心理学でビッグファイブとよばれる性格の5因子(情緒安定性・外向性・開放性・協調性・誠実性)をエージェントに持たせ、遺伝的影響を受けた気質が、両親等によって幼児期に形成される一次的な性格、教育や社会を通じて青年期に形成される二次的な性格などと重層的・総合的に形成されるモデルを作成した。

このモデルは、人格の理解に役立つだけではなく、集団の性格的傾向や、職業適性・企業文化、社会の文化価値類型、さらには国家や文明の理解にも役立つので、その応用例(図2)を紹介する。

図1 学習エージェントの機能



高玉圭樹著『マルチエージェント学習』から転記

(Humanoid_003.flh)

表1 5因子性格の心理学

	Big Five	日本版Big 5尺度FFPQ	本質	一般的特徴	病理的傾向	
1	情緒安定性	N	情動性-非情動性	情動	敏感な/情緒の安定した	神経症/感情鈍磨
2	外向性	E	外向性-内向性	活動	積極性/控え目:客観/主観	無謀/臆病・気後れ
3	開放性	O	遊戯性-現実性	遊び	遊び心のある/堅実な	逸脱・妄想/権威主義
4	協調性	A	愛着性-分離性	関係	親和的/自主独立的・競争的	集団埋没/敵意・自閉
5	誠実性	C	統制性-自然性	意志	目的合理的/あるがまま	仕事中毒/無為・怠惰

原注: 心理学評論, 1997, p. 255 より引用して改変。出典: 和田さゆり著「特性論とビッグファイブ」詫間武俊・鈴木乙史・清水弘司・松井豊編『シリーズ・人間と性格第1巻性格の理論』2000年、ブレーン出版^[19]、p. 69 から引用して加筆。

図2 5地域の狩猟採取・農耕・遊牧・商業モデル (Humanoid_01253.model)

